

## 第5章 計画の進捗管理

### 【概要】

- ◇ PDCAサイクルにより進捗管理を行い、2020（平成32）年度に中間見直しを実施します。

### 1 進捗管理

本計画は、PDCA（計画－実行－評価－見直し）サイクルに基づき、施策の進捗や達成状況を点検・評価し、改善点の抽出や新規施策の検討を行い、必要に応じて計画の見直しを行うことも視野に入れて、**継続的に改善**を図ります。

施策の進捗については、水戸市自転車利用環境整備審議会（以下「審議会」という。）に毎年報告することとし、利用状況や整備手法のあり方について審議を行います。ただし、個別施策の実施スケジュールはそれぞれ異なるため、適宜スケジュール管理を行い、必要に応じて、スケジュールの変更や実施内容の見直しを行うこととします。

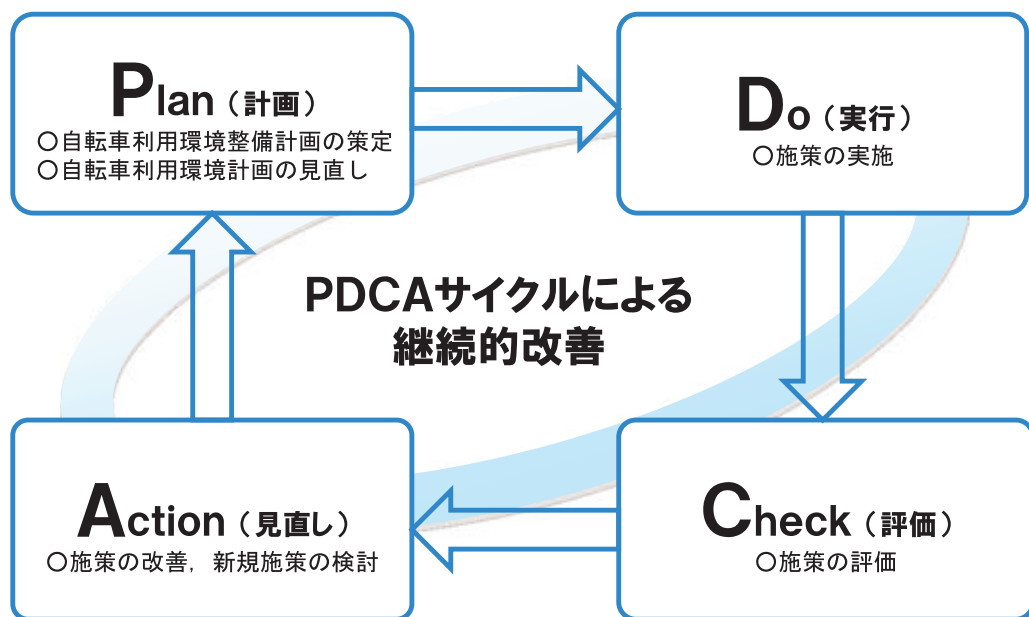


図 5-1 PDCAサイクルの内容

計画期間の中間年度である**2020（平成32）年度**に、優先整備路線の再編やアウトカム指標の達成に向けた施策の実施状況を検証するなど、**計画の中間見直し**を行います。

最終年度である**2023（平成35）年度**には、**アウトカム指標の達成状況に基づく施策の評価や検証**を行い、その結果を踏まえて、次期計画に向けた具体的な実施施策の変更や実施内容の見直しなどを検討します。

なお、アウトカム指標の一部は、既存統計の調査結果をもとに算出する必要があり、当該統計調査等の実施時期との関係で、必ずしも最終年度の評価ができない場合があるため、その場合は、指標が算定可能な年度において評価するものとします。



表 5-1 本計画の進捗管理

	2017 (平成 29)	2018 (平成 30)	2019 (平成 31)	2020 (平成 32)	2021 (平成 33)	2022 (平成 34)	2023 (平成 35)	
進捗報告	●	●	●		●	●		
中間見直し				●				
アウトカム指標 の評価				●			●	
第2次計画 の検討						▶		
最終報告							●	
自転車ネットワーク								
優先整備路線 A 路線	▶ 整備			●	▶ 整備			
優先整備路線 B 路線	↑ 整備手法の検討 整備手法が決まった段階でA路線化			●	↑ 整備手法の検討 整備手法が決まった段階でA路線化			
ネットワーク 候補路線			↑ 路線の入替検討	●			↑ 路線の改廃検討	

## 2 推進体制

本計画の推進に当たり、市民、交通事業者、行政（各道路管理者及び県警察含む）が相互に連携・協働して互いの役割を果たしていくことで、さまざまな課題に対し事業の効果を高めていくことができます。

そのため、審議会において、学識経験者、交通事業者、市民、関係行政機関等の委員による協議を行い、総合的かつ戦略的な自転車施策の推進を図ります。

審議会では、個別の施策ごとに、市民、交通事業者、行政のそれぞれの役割を明確にし、どの時期に誰がどのような具体的な活動を行うかを協議して、施策を進めていくとともに、施策の進捗状況を確認し、必要に応じて調整を行います。

